

(別紙5)

整 理 番 号 2024P-021

補 助 事 業 名 2024年度 自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業 補助事業

補助事業者名 一般財団法人日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本大会の開催により国内における自転車競技の普及促進、認知拡大を図るとともに開催地域の活性化を目指す。

ツアー・オブ・ジャパン（以下「TOJ」）は、国際自転車競技連合（以下「UCI」）公認の国内最大規模・最長期間で開催するステージロードレースである。アジアでもハイレベルな起伏に富んだコース設定となっており、出場する国内外選手にとって研鑽の場となるため、国内選手の競技力向上、世界への登竜門となる大会として継続開催することを目的とする。

また、本大会をサイクルツーリズムによる観光資源として活用し、開催地の地域創生・町興しの一助とする。

さらに、本大会関係者による他の新規自転車イベント等へのノウハウ・情報提供、協力等を今後も実施し、国内の自転車競技・レース文化の定着と醸成を目的とする。

(2) 実施内容

ツアー・オブ・ジャパン2024 （ <https://toj.co.jp/2024/> ）

TOJは、次世代の人材発掘・育成を後押しする「TOJ NEW GENERATION」という命題に取り組むため、UCIクラスを2.1から2.2に変更し、若手選手を主体とする学生チームやクラブチームの招聘を可能とした。

2024年も国内外の強豪チームを16チーム招聘し、8日間8ステージを8都府県で開催した。

競技中の安全対策を強化するため、新たにレース中のコース上や沿道に対する安全確保・誘導等を行うバイクであるエスコートモトを2台導入したほか、レースの先頭を走る競技車両にスピーカーを搭載し、コース沿道や周辺エリアに向けて注意喚起を行った。その結果、競技をスムーズに進行し、事故やトラブルなく大会を安全に終了することができた。

また、TOJキッズの取り組みを再開した。開催会場や開催地で子供向け自転車教室を実施したほか、各ステージの表彰時にプレゼンターとして子供たちに登壇してもらい、地域交流を図った。



TOJキッズが表彰プレゼンターで登壇



ハイスピードで走行する選手集団

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

今年も無事8日間8ステージでの開催となった。

各ステージの会場にコロナ禍前の賑わいや観客が戻ってきており、今後も既存ファンのみならず、新規ファンの獲得が期待できる。

2024年より若手選手の発掘・育成に寄与するため、UCIの大会クラスを2.1から2.2へ変更したことで、クラブチームや学生チームが出場可能となった。これにより、有望な若手選手がTOJ出場を目標としやすくなり、ますます「若手の登竜門」として認識されることが見込まれる。海外チームも若手育成を目的として活動するチームを招待することで、大会全体がアグレッシブなレース展開となり、選手の競技力向上に貢献する大会となる。

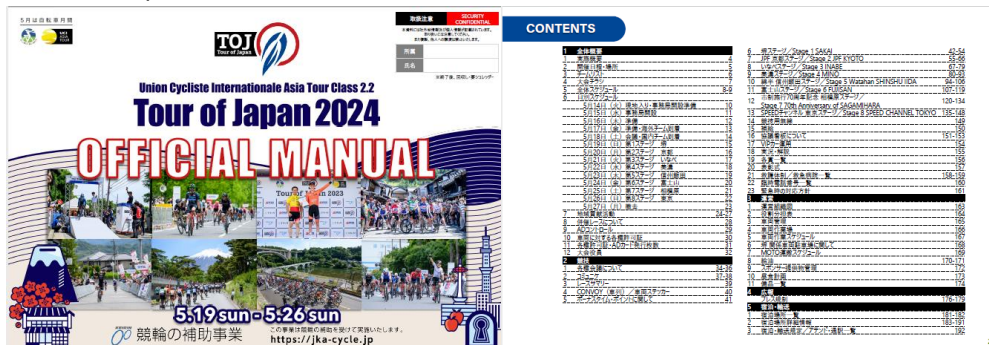
また、YouTubeレース配信の分析によると、出場チームの所属国、出場選手の母国からの視聴が確認できた。このことから、国際色豊かなチームを招待することで、選手の家族や友人もTOJに注目してくれることが推察できるため、大会の知名度を国際的に広めることに繋がる。

TOJを競輪補助事業として開催し、PRすることで、自転車ロードレースのみならず自転車競技全般の周知・PRに貢献する。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

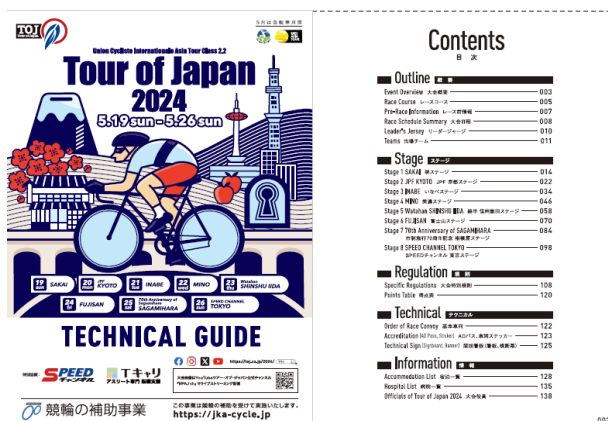
Tour of Japan 2024オフィシャルマニュアル



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

Tour of Japan 2024テクニカルガイドブック

(<https://www.mavisports.com/toj/toj2024technicalguide240509.pdf>)



(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシヤフキュウキョウカイ)

住 所： 〒141-0021

東京都品川区上大崎3-3-1自転車総合ビル4階

代 表 者： 会長 小泉 昭男(コイズミ アキオ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局次長 村山 吾郎(ムラヤマ ゴロウ)

電 話 番 号： 03-4334-7952

F A X： 03-4334-7957

E - m a i l： jifukyo@jifu.jp

U R L： <https://www.bpaj.or.jp>